公民館報 こすど
編集・発行　小須戸町公民館
印刷・発行　矢部藤三郎

新正月は
まず官公庁、諸団体から

師走の風が吹き初める頃になると毎年のように一月正月か、二月正月かという議論が街の角で、村の茶の間でさゝやかれ結局、有耶無耶に終り今迄通りとなるのが蒲原地帯の習わしとなっていた併し市町村の合併により又新生活運動の展開されるにつれ、各地の新正月の一本化が進んだ。

特に今年は近接町村の呼びかけと婦人会の強い要望もあり、各種団体の代表の御意見をお聞きしたところ一致して一月正月の実施が良かろうとの事で、去る三十日嘱託員実行組合長の御参集を願い、おはかりしたところ呼びかけが時期的におそく、今年より直ちに実施する事に困難だろうとの意見があり、挙町一致の態勢はとれなくなった。

この問題はその性質上勿論強制すべき事ではなく拙速をさけ、さしあたり、今年は準備期としてせめては官公衙、団体だけでも新正月を実施していたゞき、一般の皆様からも出来得る限り御同調を願うようにし、来年はなるべく早くこの問題の御審議をいたゞき、一齊に新正月に踏みきって欲しい事である。

永い間の習慣はなかなか改めにくいものでありその慣例が出来た時は、それはそれなりに正しい理由があった事を思えばこの問題がとり上げられた事だけでも一つの進歩ではあると思う。

一刻も止まらぬ大きな時の流れは私共の生活のすみずみ迄浸透してきている。人工衛星が打ち上げられ、大陸間弾道弾が発射される今日、新正月の問題は目に角をたてゝ議論する程の大問題ではないかも知れないが、私達は身近な問題から取上げ生活の合理化をはかり時代の波にとり残されないように心がけたい事だと思う。

栄誉の町長さん

長谷川町長さん
藍綬褒章を授与さる

去る十月十三日東京都体育館に於て、地方自治法施行十周年記念式が天皇陛下の御臨席の下に盛大に挙行された。

その際わが小須戸町長、長谷川鉄太郎氏は地方自治振興の為の特別功労者として全国で百名、本県では三名という僅少の中の一人として名誉ある藍綬褒章を授与せられました。この事は町長さん御本人の栄誉は申し上げる迄もなく、我々町民もひとしく誇りとするところであり、心からおめでとうございます、と申し上げるものであります。

感謝のことば

小須戸町長
長谷川鉄太郎

私今回地方自治功労者として内閣総理大臣より藍綬褒章を拝受する事となり、去る十一月十三日自治法施行十周年記念式（東京都体育館）が行われ国会議員、知事、県会議長、市町村議長、市町村議会議長等約九千人が参列天皇陛下の御臨場を仰ぎたる誠かなる式場に於て総理大臣より藍綬褒章を拝受致しました。

私、地方自治体の長としてこの栄誉に預りました事は身に余る光栄であり又感激で胸一ぱいであります。

私は唯々永年勤続したるに過ぎないのに、斯る栄誉の恩恵に浴した事は終世の喜びであります。この感激に酬ゆる為、老軀に鞭打ち一段と自治振興、町勢発展の為に尽したいと思います。

こゝに紙面を借り感謝の挨拶を述べさせて頂きます。

年賀状は
十二月二十五日頃迄に

目下発売中のお年玉付年賀はがき、一枚四円と五円（寄附金一円つきのもの）の二種類ですが、賞品は私達のとなり町で製造される加茂の桐だんす、特等）を始め、カメラ、ポストンバック、野球グラブ、歯磨セット、切手シートのお年玉つき。

売捌きにあたって従来の予約受付や連絡員を通じて町内へ売捌く事は致しませんから、郵便局又は近くの切手売捌所で早めにお買い求め下さい。

早く知らせましょう
廻しましょう

私達の日常生活の中で回覧、連絡、通知又は伝言による事が多分にあるが、連絡通知は町民生活にとって切っても切れない宿縁である。

こうした回覧や通知又は伝言の速達方について更に一般の協力と努力を要する点が多分に見受けられる。

たとえば町役場からの納税通知が納期後配布されたり、一定の期日以内に手続きや通知しておかなければならない回覧板が期間経過後に廻って来たり、また人から依頼された伝言を忘れていたりして、他人にまで迷惑を掛ける事が少なくない。

納税通知、回覧、伝言等すべてそれは各々の目的があり、その目的にもものである。

一般に遅れる理由は色々あろうが、おそらく各家庭での停滞時間が余り少なく、又は他人の迷惑にも長過ぎて遅延するものと思われる。

すべて連絡や通知の目的は、作成者がその意志を与える事すらある。

こうした事は自分に直接関係がないといかにも軽重があろうが、期日の経過によってその価値も少なく、又は他人の迷惑や時によって思わぬ損害すべき事である。（折角苦労して作成した連絡通知が遅れた為に、なんの役にもならないよう、又他人にまで迷惑をかけるのないように。）

「忘れずに早く知らせよう伝達事項」で私達はその目的を達する為の方法と努力に一考を要するのではあるまいか。

それには町民一人二人ではできない事なので、みんなで協力し、努力し合ってこそ、始めてその成果が生まれるものと思う。

みんなが進んで協力実践するなら、こんなところからも町の隆盛が、もたらされるのではなかろうか。

矢代田　壹屋徳一

症状

三十八度から四十度の高熱が二、三日続き頭痛関節痛をともないます。普通風邪を引いた場合は鼻やノド気管に炎症症状があっても熱はそんなに高くないし、食欲も余り落ちず通勤や通学にも余り支障をきたさない事が多いのですが、インフルエンザの場合は鼻やノドの症状が大してひどくないのに、いかにも病人病人して関節が痛んだり、吐いたり下痢をしたりと云う胃腸障害の症状までが加わるのです。

順調に経過すれば四、五日から一週間位で治りますが、この病気のおそろしいのは肺炎を併発する事です。

ぶりかえす流感に
注意しましょう

この春全国的に猛威をふるったインフルエンザは、又ぶりかえして来ました。今度は都会よりも地方に多く、子供ばかりでなく大人にも多いと云われています。

最近では此の流感の為に死亡者も出ておりますカゼ位とバカにしないで早くお医者に見てもらう事が何よりです。

小学生、就学前の子供老人、病弱者といったカゼにかゝり易い人は特に注意が必要です。

差出しは帯封して

年賀状は紐でたばねてお出し下さい。たばねないでバラバラにお出しの時は、一通毎に表面左側のあいたところへ「年賀」と朱書して下さい。

予防

手当の方法

患者の寝室は別にします。もし別室という事がむずかしければビョウブを立てゝ患者のツバの飛まつを防ぐようにして頂きたいと思います。

食物は消化し易く栄養価の高いものを十分にとり特に果汁や牛乳、スープ番茶など水分をたっぷり与える事が大切です。

尚一たん熱が下ってもすぐに起き出さないで、少なくとも一週間は休養が必要です。

患者にはウガイとマスクを励行させ、ウガイは水でもお茶でもホー酸水でも何でもよいのです。ノドの奥の方を洗い流すつもりで、ていねいに子供にもウガイの方法を教えて下さい。

マスクは病人がかけるのが建前です。健康者がカゼや寒さを予防するつもりで、のべつにかけているとノドや鼻の粘膜が弱くなって、かえって病気にかゝった場合、重くしてしまいます。

過労や不摂生をさけて十分に休養をとる事です特にこれから入学試験の準備で徹夜などする場合仮寝などは病気の原因になり易いものですから家人は十分気をつけてやって頂きたいと思います。

また厚着の習慣をつけないようにするのは結構ですが、薄着の為にカゼを引かないよう、その日の陽気に合せて着工合を手マメに調節する心がけも大切であります。

（保健婦）

町連青団旗の図案募集

此のたび町連合青年団では団旗を購入する事になりましたので、団旗の図案を左記の要領で広く町民各位より募集いたします。多数の応募を切望してやみません。

○応募規定

◎小須戸町連合青年団の団旗にふさわしい図案であること

◎〆切　十二月二十五日

◎用紙の大きさは画用紙大

◎入選図案には薄謝贈呈

◎宛先　公民館内連青事務局

応募作品は青年団代表学識経験者で審査の上、入選を決定します。入選者は館報の一月号紙上に発表予定。

剣道少年部
金津で入賞

去る二十三日、金津剣道大会に於て町クラブの次の少年が参加、発足して僅かのうちに腕を磨きこのたび、団体少年部で三位を獲得した。

風間五郎　城丸真佐敏
小柳健三　高橋建夫
小柳健二

また五泉大会では個人少年部で小柳健二君が三位に入賞した。

中学校前庭に
堂々たるセンター完成

去る十一月二日の文化祭を期し、昨年と今年の卒業生合同寄附になるミロンの「円盤を投げる人」の除幕式が中学校前庭で盛大に行われた。この塑像は「死点」まさに伸びんとする寸前の瞬間（動中静あり　静中動あり）とでもいうべきか、を刻に没頭、勉強のため台らえたもので、学窓を巣立たんとする在校生に対する。戦前中の軍隊生活でも有意義なもの。

制作者は新潟市珊瑚町に在住の早川亜実氏で、制作活動は一時中断されたが、戦後ますゝ盛な活動を開始、最近は特に能面に大きな関心を持たれすばらしい作品を続々と生まれるものと思われる。

現在どの派にも所属せず、独立独行で——

当年四十五才

センターの庭前校学中

小須戸風土記

矢代田の三蔵坂（完）

大治　柏

姿を消した三蔵ではあったが、やがて風の便りで愛するお園が、金津の豪家へ嫁いだと知るや、三蔵の心は自暴自棄に変ってゆくのでした。そして自主性をなくした三蔵は、初恋を裏切られたと悟ったか……三蔵の愛は大きく憎悪とかわった。

「世に真実の愛があるであろうか、もし神や仏のような心なら、対手の幸福を心から祝福してやったろうに。

しかし人性のあさましさをまざ〳〵見せた三蔵の心は悪鬼の如く変ってついに盗賊の群に加わるのでした。そして彼三蔵は、数十人の手下をもち護摩堂山を中心に、三条から新津の間に網張る今では世に恐しい山賊の頭目となっていました。

今宵も三蔵によって血なまぐさい風が吹いていました　罪もない旅人を一刀のもとに息の根をたち、所持金をうばう道徳も人情もない仕業がようしゃなく続けられていました。

しかし三蔵にも良心がまだ残っているのであろうか……手下の者を矢代田附近に見張らせているが、彼自から近よろうとはしなかった。せめて主家の恩義に対する心尽しなのであろう。

その夜は冷たい月が初多の山道を薄明るく照していました。今宵に限っていかにも矢代田の里の悲しい三蔵は、数名の部下と共に矢代田から金津に向う三沢の坂（今の光化農場附近）に陣どって良きカモどざんなれと大刀のつかに手を掛け待期するのでした。

こうした事を神なら旅人が登って来ました。息をこらした三蔵は暗闇からおどり出し、おのれと大刀をふりかぶったせつな、意外かよわい女の悲鳴でした。

「おお……お園様」

口からはどばしり出たのは憎しみも怒りも忘れた三蔵の言葉でした。

そして月光に照しだされた美しい顔は、昔と変らぬお園だったのでした。

義理とはいえ、すべてをあきらめて金津の豪家へ嫁いだものの、決して幸福ではなかったお園は夫、しうとめの無理解でいたたまらず、離別して実家に帰る途中だったのです。

そして二人は無言のまま、しばし冷たい月下のもとに抱擁するのでした

「お園　お前をもう離さない」

「三蔵様　私も貴方から離れない…」

その夜、悪の一切を精算した三蔵は、人間性をしばる古い「きづな」をたち自由な社会へおおしく旅立つのでした。

愛は強いもの、鬼と思われた三蔵も愛する妻を得て、三蔵の心は日増に太陽のように温く変ってゆくのでした。

それから数十年、三蔵は今では名ある主家に仕え、弓矢持つ保科三蔵と名乗る立派な武士となっていました。

その頃、越後では麻のように乱れ毎日のように戦があちこちにありました。遂に味方、庄瀬、樋田の各城から火の手があがり、矢代田の里も戦場と変っていました。そして兵火で矢代田は焼野が原になり、だれ一人住む者のない事を遠くで知った三蔵夫婦は、妻の実家の再興と若かりし頃、罪なき人を殺した人達の冥福を祈る為、再び浪人して矢代田に帰り、開墾したと言われています。

今でも三蔵坂（三沢坂）一名どろぼう坂とも言われています。又、人馬の骨が出るのは矢代田合戦の名残りで、今でも保科家に伝わる塚には三蔵が子孫に財宝を埋めて残したのだと言われています

さしさわりがありましたらお許し願います。

史実と伝説は違います。なにしろ遠い昔々の伝説ですから——

火の用心

みんなで本を読みましょう

読書会のしおり

◎私たちの生活を楽しく、ゆたかにしてゆきましょう。
◎私たちの生活を明かるく向上させてゆきましょう。
◎私たちものの見かたや、考える力を深めてゆきましょう。
◎私たちの教養を高めひろめてゆきましょう

この手引について

読書会は本を読み人生を楽しく、ゆたかなものにする為の文化運動です

人数は二〇人位まで

「明かるい生活をしたい」という気持で本を読みあう楽しい仲間が、四人でも五人でも集まればそれが読書会です。

規約にも幅をもたせよう

実際読んだり話したりする集まりを重ねてゆくうちに、規約が必要だなという時になって、みんなで簡単なものを決める程度でもいゝでしょう。

世話役を中心にして

世話役は本の出し入れや集まりの通知と司会や記録、会計などの仕事もあるので、少なくとも二人くらいいたら好都合でしょう。

世話役にはこんな人がいゝ

(1)本を読む事の好きな人
(2)豊かな教養のある人
(3)いつもにこ／＼していて世話すきな人
(4)熱心で根気強く、永つづきする人
(5)明朗で司会者になれるような人
(6)健康で人に好かれる人
(7)読書会を自分の野望の為に利用しないような人

読書会の目的をはっきり立てる

目的はなるべく生活にじかに結びついた具体的なものほど、お互に張りあいがあるでしょう。例えば「子どものしつけ方」「苗代の改良等はどうしたらよいか」など―

読書会は名よりも実を

読書会は職場、町内、部落、団体（青年団、婦人会、PTA、農協、子供会、4H クラブ、山岳会など）の中に目的に応じて実際本の読み合いが行われていれば、それで結構なのです。

運営には工夫をこらして

なごやかな雰囲気をつくる為に歌をうたったりゲームや踊り、又は読んだ本に関係のある映画やラジオなどを一しょに見たり聞いたり、問題を深くつきつめたい時には、講師を呼んでの講話や座談会を開く事もできるでしょう。

いき〳〵した話し合いを

ふだんの言葉で身近な事がらから離れず、きめられたテーマに就て見栄や気どりはやめて素直に語り合いましょう。

身近なものから読みはじめよう

新聞や雑誌の一節でも日項の生活に関した問題の本でもいいでしょう。本は会員がみんなで買うのもよし、公民館の貸出し図書を利用する事も心がけましょう。

読む技術にも工夫を

一人の人が読むのを聞いたり、輪読式のやり方人物に分かれて読む「本読み」式、或は家庭で読む事も考えられます。作家の伝記や作品の価値作品の中の「さわり」の部分を朗読する人が出るのも望ましい事です。

記録も忘れずに

集まりの日時、人数、読んだ本などの簡単な記録から会員めい〳〵の投書帳や読書日誌や感想文などを書く事も、話し合いと共にお互が伸びる為に大切な事です。

会費は平等に負担

会費は多くなく他人のふところをあてにせず月々きちんと出すように。

健康診断終って笑顔

受診成績並に第2回目実施のお知らせ

本年度、第一回レントゲン検診にあたりましては、結核予防婦人会を始め嘱託員字校、公民館等々多くの団体組織をあげて御協力下さいました事を厚く御礼申上げます。

特に婦人会におかれましては御多忙中の処、各部落毎に多数の御手伝いをいただきました事を係一同感謝致しております。

第一回実施に際し各部落における受診成績は左の通りであります。

第一回検診に御都合で受診出来なかった人の為に第二回目を十二月十六日に実施致しますようお願い致します。尚第一回第二回ともレントゲンの結果は、後日受診者一人一人に結果を記入の上御通知致しますからよろしく御願い致します。

結核健康診断・レントゲン撮影中間成績

地区	該当数	受診数	受診率
鎌倉	二三二	二〇四	八八%
天ケ沢	二六六	二二九	八六%
矢代田	八一六	六四四	七八%
横水	五五六	四二〇	七五%
新保竜玄	六五〇	四八五	七五%
町部	二、一〇二	一、八四九	八八%
計	四、六二二	三、七八二	八二%

この成績は実施当日の計でありまして細部の計は第二回目終了後御知らせ致します。

追〜憶

日暮千代

夕陽迫る黄昏に今日も懐しい学び舎の灯がともる。「先生……先生……」いくら呼んでも返らぬ過去、そして友はどこでどうしている事であろう。

解散するともなく解散した今日、たゞ思い出だけが眼前を駈け廻る。

泥にまみれた廃物に包まり、乏しい食物をあさりながら、幸福への道を求めて共に縋る私達に、先生は口癖のようにおっしゃった。「貧乏人達は馬鹿になりなさい、馬鹿ですよ。自分は馬鹿であると思っておれば、誰の前でどんな意見も吐かれる。質問もできる。喋りなさい、なんでもよいから喋りなさい。喋る事によって何かを得る事ができる。そして自分は貧乏である事を忘れてはなりません。どんな服装でも良いからどこへでも行きなさい。自分の貧乏を自覚しておれば、少しも恥じる事はありません、貧乏が貴方を幸福にする。」

この言葉は永遠に私の脳裏にこびり付いて離れない。私だけでなく一緒に教えて頂いた友も又アカギレだらけの手に鉛筆をくわえながら作文を書くのも楽しかった。

書く事によって疲れを忘れ、辛さを慰め前途を明ます日々、昨日も今日も、そして明日も……懐しい数々の思い出を辿りつゝ、ふと我に返り現在の自分を見つめる時なんという情ない哀れな姿であろう。

タイピストなどと名前こそ良けれど何とて得るところなく、ぼんやり意味ない日を送る味気なきに二筋三筋、涙が頬を伝わった。

泣いたとて――返らぬ過去を追い乍ら掘るタイプのキー重く思い乱れて誤字を打つ今の生活には、こんな詩しか浮んでこない。いくじなしの自分を責めつゝ過去を偲び、せめての慰めにペンをとってみた。だが、いくら書いても先生や友達の批評を得る事なく、ただ書いて破いて捨てる淋しさ遣瀬なさ、今後幾度繰り返す事であろうか。「先生、友を含めて……」呼べど声なく、夕靄の中に消えて行く。言い知れぬ悲しさに又も溢れくる涙をこらえて、見上げる空に一番星が出ている。

文化祭優秀作品

中学二年　小柴謙治

氷稲増收競作会授賞

去る十六日午后一時より農協に於て

特等賞（金南風、五石二斗〇八合）高野嘉一氏　他六十五名の参集を得、授賞式の後、今年稲作の反省会並に授賞者の体験発表があって散会した。

尚成績は左の通りでした

総出品点数　七十点

△特等賞　五石二〇八　高野嘉一（横川）
△一等賞　四石五九四　野崎隆司（横川）
△〃　四石五六三　高野嘉一（横川）
△二等賞　四石五五四　吉田一二（横川）
△〃　四石五四四　笠原弘司（小須戸）
△〃　四石四五一　高山喜代衛（新保）
△〃　四石四二五　木村力（新保）
△三等賞　四石三八六　石本吉平（新保）
外十一名
△努力賞　三石九六一　木仙太郎（水田）
外十七名

文化祭入賞者

中学生徒作品の部

町長賞
図画　美濃栄子（三年）
工作　海津聰（三年）

教育委員会賞
工作　青木泰治（二年）
工作　堀川恭子（一年）
ガラス絵　五十嵐弥（三年）
習字　武藤武哉（二年）
手芸　奈良沢奈代子（二年）

定時制高校の部

町長賞　竹内淳一　四年
教育委員会賞
画　小島芳子　三年
工芸　大貫昌子　一年

俳句の部

町長賞　内山越樓
一等賞　棚橋香水
〃　森田まつし
二等賞　五十嵐香月
三等賞　加藤山蕘
〃　丸山虚秋
〃　加藤溪灯

百粁鳩レース

直江津―小須戸間

第一回局長杯レース
一位　矢代田　高山鳩舎　一時間三〇分
二位　矢代田　高山鳩舎　一時間三〇分
三位　天ケ沢　土田鳩舎　一時間四〇分

卓球の部

団体男子
一位　ウヂコキチーム
二位　中学校A　〃
三位　四之町　〃

団体女子
一位　一之町　チーム
二位　中学校A　〃
三位　〃B　〃

野球の部

一位　役場チーム
二位　教員　〃
三位　酒屋　〃
〃　竹井　〃

県下柔剣道大会

剣道団体　一般の部
一位　東新潟チーム
二位　新潟大学　〃
三位　白根B　〃

少年の部
一位　地蔵堂チーム
二位　金津A　〃
三位　金津B　〃

柔道団体　一般の部
一位　水原高校チーム
二位　加茂農B　〃
三位　味方　〃

少年の部
一位　新津五中Aチーム
二位　五泉中　〃
三位　新津五中B　〃

懸賞クイズ

第3回

家中そろって考えましょう

ひろいむぎばたけをこえて、やまのおくにもはるがきた。ゆきどけのしめったつちにつゝまれてねころがっていたくさも、みどりのからだをおこしきいろやあかのつぼみをくきのうえにそっとさゝげる。さくらのはなも、もうすぐあかつきのそらにたいしてつたえよう。きびしいふゆのあとにしたがってたのしいはるのおとずれたことを。

◎右の文で漢字になおせるものをなおしてください。（何字でもよい）

たゞし新しい字体になったものは新しい字体で。

◎当選者は正しい漢字の多いものから順にとって行きます。

▲あて先…小須戸公民館内クイズ係
▲用紙…郵便はがき
▲〆切…十二月廿五日
▲正解者が多いときは、くじ引きで十名の方へ賞品をさし上げます。

前回の正解文

おおかわのすいめんがこおりでおおわれ、みかづきのでたはしのうえをとおるこうじようづとめのさんにんづれにつゞきたけづえをついたろうじんも、らんかんづたいにくびをもちぢめてあるきづかれのあしをひきずってゆく。

応募者三十六名の中左記二名だけが正解でした。

横町　武藤由美子
矢代田　荻原敬大

理料の節季

蒸色五の かか い

材料（五人前）

大きいか二はい、豚挽肉五十匁（いかの足でもよい）蓮根半節、人蔘三個、グリンピース大さじ二杯、古生姜一個、片栗粉、酒、煉辛子、スープ

作り方

いかは肉の厚い胴の長い大ぶりのものをえらび足と腸を抜いて皮をむき胴に手を入れてよく洗い熱湯に塩一つまみ入れてざっとゆがいておきます。人蔘、古生姜をみじんにきざみ、蓮根は皮をむいて塩と酢を各大さじ一杯すつ入れた水に二十分くらいつけて、あく抜きして卸金で卸します。

ボールに豚挽肉を取り蓮根の卸したのを入れ、人蔘、古生姜、グリンピースをきざんだ物と片栗粉大さじ二杯をつなぎとして混ぜ合せ、二つにわけておきます。ゆがいたいかの胴にこの肉をつめこみ終りを妻楊子で二針程ぬい止めぬれ布巾で巻き両端を折込んで、ふっとうした蒸器で約十五分蒸し、とり出して冷ましておきます。

冷めたら一糎くらいの厚さに切り、大皿にサラダ菜をしいて並べ、たれをかけて供します。たれは酢大さじ二杯、醤油小さじ二杯、スープ大さじ三杯を混ぜ合わせ溫めて片栗粉小さじ二杯を水ときして入れ、火から下し煉辛子小さじ一杯を混ぜて仕上げます。

田の中から六七百年前のかめ発掘

約六七百年前のカメと思われるものが天ケ沢地内カノツメと称する田圃の中から発掘されて話題をにぎわしている。

去る十一月二十日、天ケ沢の今井半一氏が暗きょ排水をする為、田の中約三尺位掘った処、高さ六寸横七寸口四寸の珍しいかめが出たもので、その附近ではその古時代の変わった色々の土器が無数に出る事と三尺下の土地には炭と思われるものが一面ある点などで古代土器を造ったかまあとでないかと言われている。

文化祭句会

小須戸町俳句同好会

真乾く稲架入れもあり文化の日　香月
珍らしく日和惠まれ文化の日　旺賓
雨後の虹大きく明日は文化祭　越樓
牛ひいて柿喰いつゝ行く若者　渓灯
クレヨン画なる母若し文化祭　まつし
螢光灯下文化祭の踊り練る　水月
文化の日土工のシャツの白き哉　杏水
二三発朝の花火や文化の日　山葵
柿紅葉会場までの道飾る　虚秋
文化祭空き椅子待つや喫茶店　流水

12月 購入図書

◇世界大ロマン全集　第二の顔　マルセール
◇世界推理小説　ブラウン神父　G・Kチエスタトン
◇人工衛星　原田三夫
◇変化獅子　横溝正史
◇白磁の人　舟橋聖一
◇氷壁　井上靖
◇転落　カミュ
◇サラリーマン教室　青谷重平
◇問題の子らと四十年　宮城タマヨ
◇続学校はでなくとも　扇谷正造
◇あいまいな言葉　編　朝日新聞学芸部
◇子どもの絵　ローエンフェルド
◇目白三平共稼ぎ　中村武志
◇荷車の歌　山代巴
◇八幡船　山岡荘八
◇乱舞まぼろし峠　城昌幸
◇隨筆集　酒　獅子文六
◇現代史の中のひとり　亀井勝一郎
◇妻の冒険　鹿島孝二
◇ボヴアリー夫人　上巻　フロベール
〃　下巻
◇偉人物語　編　学習研究出版部
◇婦人朝日
◇オール読物
◇キネマ旬報
◇栄養と料理
◇相撲
◇文芸春秋
◇野球界

寄贈図書
◇日蓮主義に関する108の質問　編　田中香浦